



International ONSEN Summit


Oita Prefecture, Japan

世界温泉地サミット

テーマ 「世界の温泉地が拓く地域発展の可能性」
～温泉がつなぐ地域資源の多様な活用方法～

Theme: The Possibility of Regional Development through
ONSEN Resorts from Around the World
- ONSEN-related Ways of Utilizing Local Resources -



おんせん県おおいた 
世界温泉地サミットHP



<http://www.pref.oita.jp/site/onsen-summit/>

ONSEN

主催：世界温泉地サミット実行委員会（事務局：大分県企画振興部 観光・地域局観光・地域振興課内） お問い合わせ：097-506-2129

後援：経済産業省／国土交通省／観光庁／環境省／外務省／日本貿易振興機構（JETRO）／日本政府観光局（JNTO）／日本観光振興協会／国際交流基金／JICA

海外参加国リスト



世界温泉地サミット

アメリカ
アーカンソー州
(ホットスプリングス)

ニュージーランド
タウポ市

世界温泉地サミット Contents

海外参加国リスト	1
実行委員会会長挨拶	3
プログラム	4
基調講演・事例発表者	5
分科会① 観光	6
分科会② 医療・健康・美容	7
分科会③ エネルギー	8
エクスカージョン	9
関連イベント	10
会場案内図	11
協賛一覧	22

International ONSEN Summit
Oita Prefecture, Japan

Contents

Floor Map	11
Overseas Participants	13
Greetings from Executive Committee Chair	15
Program	16
Speakers at International ONSEN Summit	17
Tourism Working Group Coordinator & Panelists	18
Medical, Health & Beauty Working Group Coordinator & Panelists	19
Energy Working Group Coordinator & Panelists	20
Excursion	21
Sponsorship	22

Summit Oita Prefecture, Japan



世界温泉地サミット実行委員会会長
大分県知事 広瀬 勝貞

世界温泉地サミットの開催にあたり、世界の温泉地のリーダーをはじめ、国内温泉地や関係機関の皆様のご来県を心から歓迎いたします。

このサミットは、「世界の温泉地が拓く地域発展の可能性～温泉がつなぐ地域資源の多様な活用方法～」をテーマに、「観光」、「医療・健康・美容」、「エネルギー」の各分野において、それぞれの地域で育んできた温泉文化や温泉資源の活用事例を共有するとともに、温泉の新たな可能性について議論する、世界初となる温泉の国際会議です。

ラグビーワールドカップ2019™や東京オリンピック・パラリンピックを控え、日本に世界の注目が集まる中、世界の温泉地のリーダーが日本に集い、世界に向けて、温泉を発信する絶好の機会と考えています。

世界への情報発信はもとより、本サミットを通じて、新たなネットワークの構築や連携強化が図られるとともに、持続可能な地域づくりに向けた検討が行われることで、それぞれの温泉地の課題解決につながることを期待しています。

結びに、本サミットの開催にあたり、ご協力いただきました国内外の関係者の皆さまに心から感謝を申し上げますとともに、温泉をはじめとした、本県の天然自然、山海の幸をお楽しみいただければ幸いです。

県民各位のご協力により、温かくおもてなしし、サミットが大きな成果を上げるよう祈念します。

9:00 - 12:00

(敬称略)

開会

フィルハーモニアホール

主催者挨拶

世界温泉地サミット実行委員会会長 大分県知事 広瀬 勝貞

来賓挨拶

環境大臣 中川 雅治

海外参加国紹介スピーチ

I 基調講演

「サステイナブル・ツーリズムと世界の温泉地の更なる発展可能性」

ヨランダ・ペルドモ【スペイン】前国連世界観光機関（UNWTO）アフィリエイトメンバー部門長

II 事例発表

(1) 観光

「フランスにおける温泉資源を活用した観光客誘致」

ジェローム・フリポ【フランス】カンパニー・ド・ヴィシー CEO

(2) 医療・健康・美容

「イタリアにおける温泉療養の現状と健康と美を追求した温泉保養への新たな展開」

マッシモ・サビオン【イタリア】アバノ・モンテグロットホテル協会会長

(3) エネルギー

「アイスランドにおける地熱発電と熱排水を利用したブルーラグーンによる観光客誘致」

アーサ・ブリンヨルフスドットイル【アイスランド】ブルーラグーン・アイスランド研究開発担当役員

12:00 - 13:00

昼食休憩

※立食サロン〈ランチ会場入場証をお持ちの方のみ〉

レセプションホール [2階]

13:00 - 16:00

III 分科会

分科会① 観光

フィルハーモニアホール

テーマ「ONSENツーリズムの新たな可能性」

分科会② 医療・健康・美容

国際会議室 [3階]

テーマ「健康寿命延伸と癒やしのための温泉活用の展望
～クアからウエルネスの時代へ～」

分科会③ エネルギー

中会議室 [1階]

テーマ「温泉の持続可能なエネルギーとしての利活用」

17:00 - 18:00

分科会総括・サミット宣言

フィルハーモニアホール

閉会

I. 基調講演

演題 サステイナブル・ツーリズムと世界の温泉地の更なる発展可能性

氏名 【スペイン】
(敬称略) Yolanda Perdomo (ヨランダ・ペルドモ)

職名・略歴等 前国連世界観光機関 (UNWTO) アフィリエイトメンバー部門長
パリアメリカ大学国際経済学部卒業。官民セクターでの経験があり、元スペインカナリア諸島観光局の副代表。UNWTOでは、アフィリエイトメンバー部門長として、民間メンバー (世界約600団体) を束ね、様々なツーリズムの推奨、連携、地域展開を行った。現在はスペイン観光局と国立公共政策院が合同設置した観光・公共政策修士プログラムの教授を務める。



II. 事例発表

テーマ (1) 観光
演題 フランスにおける温泉資源を活用した観光客誘致

氏名 【フランス】
(敬称略) Jérôme Phelipeau (ジェローム・フリポ)

職名・略歴等 フランス/ヴィシー
カンパニー・ド・ヴィシー CEO
HEC経営大学院卒、法学修士。1978年ゼスチョン・ブリペ銀行に入行。その後、飲料業界の幹部職を歴任後、2005年にカンパニー・ド・ヴィシー社を買収。以来、温泉治療と健康を組み合わせた“グローバルヘルス”を提唱、ヴィシーよりそのコンセプトを発信している。また、温泉イノベーションの地域団体“Innovetherm”の創始者・会長でもある。



テーマ (2) 医療・健康・美容
演題 イタリアにおける温泉療養の現状と健康と美を追求した温泉保養への新たな展開

氏名 【イタリア】
(敬称略) Massimo Sabbion (マッシモ・サビオン)

職名・略歴等 イタリア/アバノ市
アバノ・モンテグロットホテル協会会長
ベニス市カ・フォスカリ大学で経営学の学位を取得。ホテルサービス、温泉医療において40年以上の経験を持つ。5つ星ホテル・プレジデント・テルメ総支配人としてホテル運営を行う傍ら、アバノ市の副市長をはじめ、様々な役職を歴任。アバノ・モンテグロットホテル協会の会長として温泉を活用した健康づくりに取り組んでいる。



テーマ (3) エネルギー
演題 アイスランドにおける地熱発電と熱排水を利用したブルーラグーンによる観光客誘致

氏名 【アイスランド】
(敬称略) Asa Brynjolfsdottir (アーサ・ブリンヨルフスドットィル)

職名・略歴等 アイスランド/グリンダヴィーク
ブルーラグーン・アイスランド研究開発担当役員
アイスランド大学で薬学の修士号を取得。地熱海水の治癒力の研究を行うブルーラグーン株式会社に入社。以後、ブルーラグーンの地熱海洋水とその成分についての研究に長年従事し、スキンケア商品等を開発。ブルーラグーン株式会社をアイスランドのヘルスツーリズムにおける代表的な会社に押し上げたマネジメントにおけるキーパーソンである。



コーディネーター

氏名 (敬称略) 久保田 美穂子 (くばた みほこ)

職名・略歴等 亜細亜大学 経営学部 ホスピタリティ・マネジメント学科 准教授

(財)日本交通公社で旅行市場の動向等分析業務に従事。2017年から亜細亜大学経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科准教授として、観光による地域振興等について研究を行う。温泉をはじめとする国内の観光資源に精通し、2016年から(公財)中央温泉研究所理事を務める一方、経済産業省や観光庁の有識者会議委員を務めた。特に温泉に関しては、環境省の「自然等の地域資源を活かした温泉地の活性化に関する有識者会議」委員として、「新・湯治」の推進に携わる。著書に『温泉地再生』など。



パネリスト (五十音順/アルファベット順)

氏名 (敬称略) 桑野 和泉 (くわの いずみ)

職名・略歴等 (一社)由布院温泉観光協会 会長

家業の宿「由布院玉の湯」の専務取締役を経て、2003年10月より代表取締役社長。町づくりなどの市民グループの代表、世話人も務める。現在は、一般社団法人由布院温泉観光協会会長、公益社団法人ツーリズムおおいた副会長。また大分銀行社外取締役、九州旅客鉄道株式会社取締役(非常勤)を務める。



氏名 (敬称略) 涌井 史郎 (雅之) (わくい しろう (まさゆき))

職名・略歴等 東京都市大学 特別教授
(一社)ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構 会長

東京都市大学・特別教授、愛知学院大学・経済学部 特任教授などを務める一方、平成15年日本国際博覧会(愛・地球博)会場演出総合プロデューサーなどを歴任。ハウステンボス、全日空ホテル等のリゾート計画や、多摩田園都市公園などのランドスケープ計画などに関与。幅広く都市と自然の関わりについて取り組み、数多くの作品を残している。



氏名 (敬称略) 【イギリス】
David James (デーヴィッド・ジェームズ)

職名・略歴等 イギリス/バース市
市観光局長

ビジネス学を大学で学び、イギリスの貿易、テナント業界等で活躍。その後、アメリカでスポーツ経営学を学びイギリス、シェフィールド市の競技場、スポーツセンターで営業部長として勤務。現在は、別府市の姉妹都市であるバース市で観光局長を務める一方、スポーツ経営の経験を活かし、同市のサッカーチームのディレクターを務める。



氏名 (敬称略) 【フランス】
Jérôme Phelipeau (ジェローム・フリポ)

職名・略歴等 フランス/ヴィシー
カンパニー・ド・ヴィシー CEO
—— 全体会議 事例発表者(観光) ——



氏名 (敬称略) 【スペイン】
Yolanda Perdomo (ヨランダ・ペルドモ)

職名・略歴等 前国連世界観光機関 (UNWTO)
アフィリエイトメンバー部門長
—— 全体会議 基調講演者 ——



コーディネーター

氏名 (敬称略) 合田 純人 (ごうだ すみと)

職名・略歴等 特定非営利活動法人 健康と温泉フォーラム常任理事

1986年設立の健康と温泉フォーラム創立メンバーで、世界保健機関 (WHO) と公式関係を持つ国際温泉気候連合のアジア・太平洋協議会 (FAPAC) 初代事務局長を兼務。永年、欧州温泉国との研究交流を継続しながら、域内のペルーやイラン政府などの温泉開発やその社会化に関わり、温泉のグローバル化を積極的に進めている。国内では、温泉地の広域連携や温泉研究の産官学のプラットフォームづくり、温泉療養の医療費控除などの政策提言、特に最近は、温泉人材の育成などに力を注いでいる。専門は健康社会学。



パネリスト (五十音順/アルファベット順)

氏名 (敬称略) 斉藤 雅樹 (さいとう まさき)

職名・略歴等 東海大学 海洋学部 教授

東京大学工学部卒。博士 (工学)。科学技術振興機構、科学技術庁、大分県庁、大分県産業科学技術センターなどを経て2015年より現職。温泉地や海洋リゾートのプロデュース、地域資源の活用などを行っており、現在、大分県別府市、豊後高田市をはじめ、各地で温泉や海を核とした観光振興策を提言。専門は、環境海洋学、地域振興、温泉観光など。



氏名 (敬称略) 早坂 信哉 (はやさか しんや)

職名・略歴等 ・(一財)日本健康開発財団 温泉医科学研究所長
・東京都市大学人間科学部 教授 (医学博士)

自治医科大学卒業、同大大学院医学研究科修了。温泉療法専門医。地域医療を経て入浴・温泉の研究を開始。専門は、温泉・入浴医学、公衆衛生学、地域医療学など。メディアを通じ、医学分野における研究結果等をもとにした温泉・入浴の正しい情報を紹介。環境省「自然等の地域資源を活かした温泉地の活性化に関する有識者会議」委員、同調査業務「新・湯治の効果測定手法に関する検討会」座長。



氏名 (敬称略) 【ドイツ】
Markus Matz (マークス・マッツ)

職名・略歴等 ドイツ/バートクロツィンゲン市
クア&スパ・バートクロツィンゲン 副館長

1986年に商業研修を終えスウェーデンの医療技術会社でヨーロッパ地域のコーディネーターを務めた。1992年に、整形と神経外科を専門とするスイスの会社で働き始め、営業を担当。現職は南ドイツのクア&スパ・バートクロツィンゲン社の副館長として組織品質の管理、データ保護、主要イベント、レジャー・スポーツ専用バス・温熱バスを担当。



氏名 (敬称略) 【イタリア】
Massimo Sabbion (マッシモ・サビオン)

職名・略歴等 イタリア/アバノ市
アバノ・モンテグロットホテル協会会長
—— 全体会議 事例発表者 (医療・健康・美容) ——



氏名 (敬称略) 【フランス】
Yasuko Jouandeau (ヤスコ・ジュアンド)

職名・略歴等 (一社) SPALOHAS倶楽部 代表理事
(SPAツーリズムアドバイザー)

2014年にフランス温泉療法名誉賞受賞 (フランス最大温泉療法機関CNETH)、同年ISMH (国際温泉物理医学会) 京都総会広報委員を務める。フランス大使館を経て独立しフランス型「新湯治」を2005年から日本に紹介。同時に海外からの招聘・専門誌を通じ、日本の温泉文化等を発信中。M.A. フランス語通訳・案内業。大分県内のプロジェクトで「タラソテラピー事業」を推進している。



コーディネーター

氏名 安川 香澄 (やすかわ かすみ)
(敬称略)

職名・略歴等 国立研究開発法人産業技術総合研究所
福島再生可能エネルギー研究所
再生可能エネルギー研究センター 副研究センター長

地質調査所 (現 産業技術総合研究所) 入所後、地熱貯留層および地中熱システムに関する数値シミュレーション研究を実施。過去に、NEDO及び経済産業省への出向経験があり、海洋汚染防止に関するロンドン条約、気候変動に関する政府間パネルの各種会合に日本政府から派遣。国際地熱協会の理事を2期 (2007年～2013年) 務め、現在は国際エネルギー機関 地熱実施協定執行委員会メンバーとして地熱利用技術の普及に努めているほか、日本地熱学会の評議員も務める。

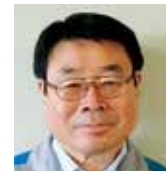


パネリスト (五十音順/アルファベット順)

氏名 福田 孝一 (ふくだ こういち)
(敬称略)

職名・略歴等 九州電力 (株) エネルギーサービス事業統括本部
火力発電本部 地熱部長

熊本大学工学部卒業、九州電力株式会社に入社。同社荅北発電所建設所技術課長、経営企画部電力取引グループ長、西日本環境エネルギー株式会社への出向を経て、松浦発電所総括技術室長、八丁原発電所長、発電本部地熱センター長等を歴任。現在は、エネルギーサービス事業統括本部火力発電本部地熱部長を務める。



氏名 山田 茂登 (やまだ しげと)
(敬称略)

職名・略歴等 富士電機 (株) 発電事業本部 火力・地熱プラント総合技術部 担当部長

早稲田大学理工学部卒業。富士電機製造株式会社 (現富士電機株式会社) に入社。火力プラント技術部地熱技術課長、地熱技術部長を経て北ネグロス地熱発電所 (フィリピン) をはじめニカラグア、アメリカ等の発電所のプロジェクトマネージャを歴任。現在は国際地熱協会理事、米国地熱資源協会理事、日本地熱学会評議員を務める。



氏名 【ニュージーランド】
Greg Bignall (グレッグ・ビグナル)
(敬称略)

職名・略歴等 GNSサイエンス 地熱科学部長

オークランド大学院卒業、理学博士 (地質学)。日本の東北大学等で研究職に従事した後、2004年、ニュージーランド (NZ) 政府の研究機関であるGNSサイエンスに入職、現在は地熱科学部長。日・NZ両国で地熱資源の評価や開発に関する幅広いコンサルティング経験を持つ。「NZの地熱資源」にて地熱研究プログラムを担当し、地熱技術国際パートナーシップの運営委員会にNZ代表として参加。



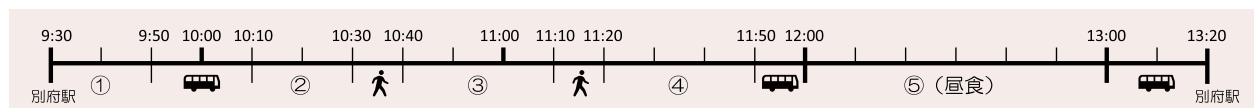
氏名 【アイスランド】
Asa Brynjolfsdottir (アーサ・ブリンヨルフスドットイル)
(敬称略)

職名・略歴等 ブルーラグーン・アイスランド 研究開発担当役員
—— 全体会議 事例発表者 (エネルギー) ——



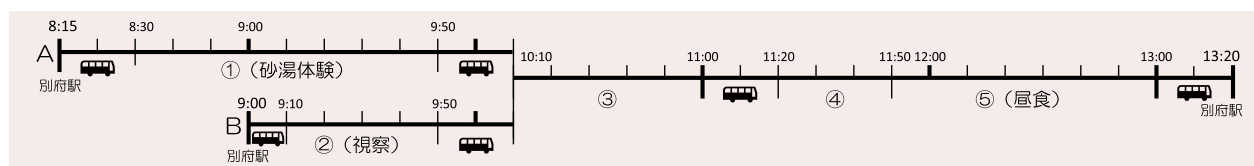
1. 観光コース

コース 別府駅 → ①別府駅外国人観光案内所 → ②海地獄 → ③鉄輪散策 → ④富士屋Gallery一也百 → ⑤潮騒の宿 晴海 (昼食) → 別府駅帰着



2. 医療・健康・美容コース

コース 別府駅 → ①別府海浜砂湯 又は ②北浜温泉 (テルマス) → ③みょうばん湯の里 → ④湯治 柳屋 → ⑤柳屋 (Otto e Sette Oita) (昼食) → 別府駅帰着



注意点 ・ Aコースは、8時15分に別府駅発です。 ・ Bコースは、9時00分に別府駅発です。 ・ AとBは、③から合流します。

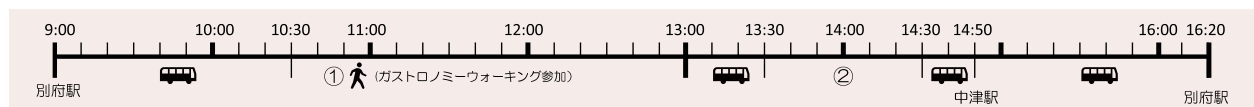
3. エネルギーコース

コース 別府駅 → ①県農業研究部花きグループ → ②海地獄 → ③もと湯の宿 黒田や (昼食) → 別府駅帰着



4. ONSEN・ガストロノミーウォーキングコース

コース 別府駅 → ①中津市 (ONSEN・ガストロノミーウォーキングinやばけい遊覧) → ②中津市内温泉施設 → 中津駅 → 別府駅帰着



注意点 ・動きやすい服装でご参加ください。 ・お帰りの際は、中津駅及び別府駅でバス降車が可能です。





世界温泉地観光物産展

International ONSEN Tourism & Products Exhibition

世界各国、日本国内の様々な展示、チラシ・パンフレット・ノベルティの配布や、飲食、特産品の販売、ステージイベント等を予定しています。入場無料ですので、ぜひお気軽にお越しください。

期間 2018 5/26(土)・27(日) 2日間限定 **入場無料**

時間 11:00～17:00 場所 ビーコンプラザ コンベンションホール

ONSEN・ガストロノミーウォーキング

※詳細については、下記HPをご参照ください。
<https://onsen-gastronomy.com/>



ONSEN
温泉



ガストロノミー
地域の旬の食材を愉しむ



ウォーキング
地域を体感

【ONSEN・ガストロノミーウォーキング】

日本の魅力あふれる温泉地において、地域特有の豊かな自然・歴史文化を「めぐって」、その土地ならではの美味しい食べ物・美味しいお酒を「食べて（飲んで）」、そして温泉に「つかって」を「体感」できるウォーキングイベント

別府市

5月26日(土)

主催 >>> **ONSEN・ガストロノミーウォーキングin別府** 実行委員会

ONSEN・ガストロノミーウォーキングin別府



湯の花小屋



海地獄



鉄輪周辺散策



温泉卵、地獄蒸し料理等



温泉

中津市

5月27日(日)

主催 >>> **中津耶馬溪観光協会**

ONSEN・ガストロノミーウォーキングinやばけい遊覧



青の洞門



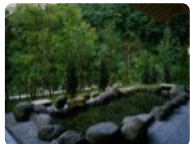
耶馬溪橋



羅漢寺

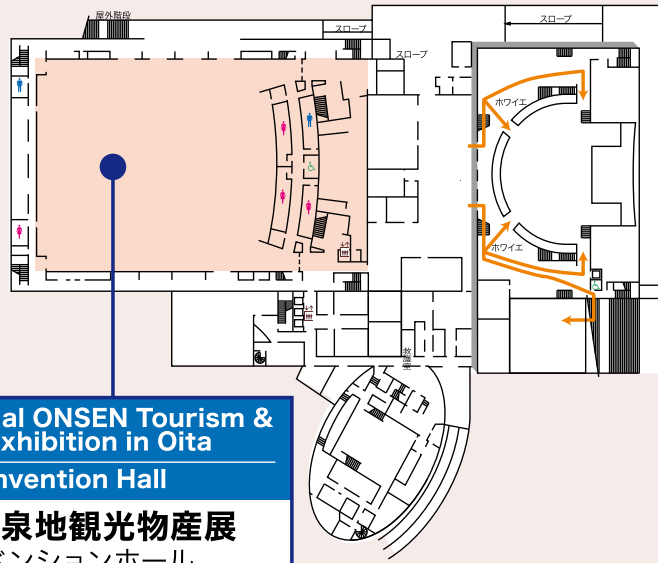


中津唐揚げ、そば等



温泉

B1



International ONSEN Tourism & Products Exhibition in Oita
Convention Hall
世界温泉地観光物産展
 コンベンションホール

1F

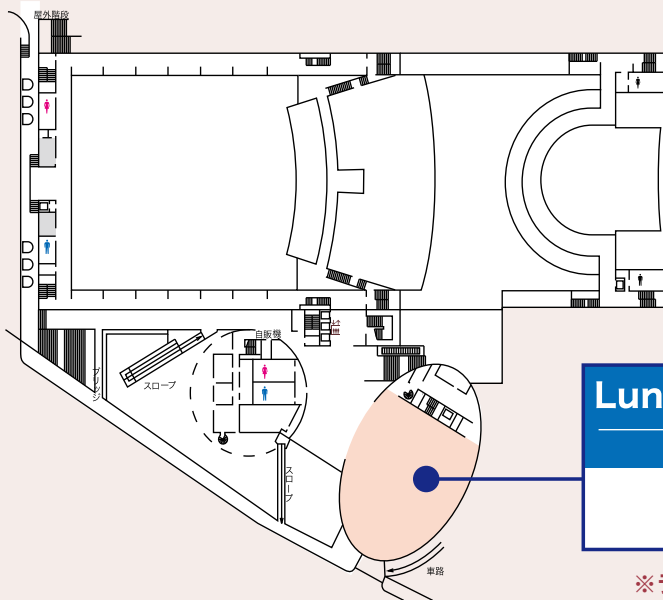


Main venue
Working Group① Tourism
Philharmonia Hall
メイン会場・分科会① 観光
 フィルハーモニアホール

International ONSEN Tourism & Products Exhibition in Oita
Convention Hall
世界温泉地観光物産展
 コンベンションホール

Working Group③ Energy
Conference Room
分科会③ エネルギー
 中会議室

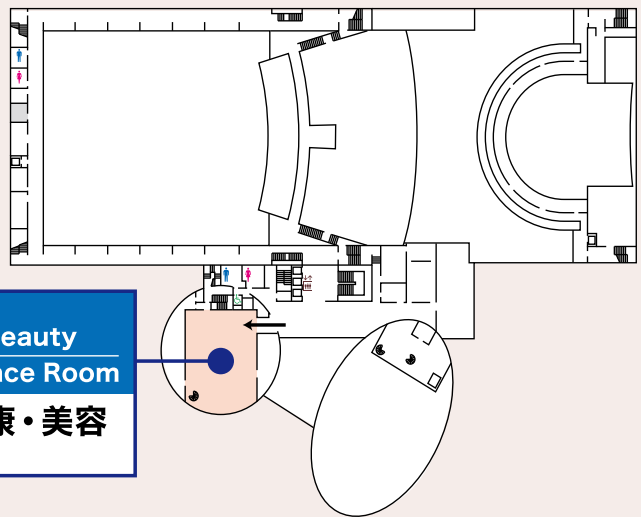
2F



Lunch (Standing Buffet)
Reception Hall
立食サロン
レセプションホール

※ランチ会場入場証をお持ちの方
Ticket holders only

3F



Working Group②
Medical, Health, & Beauty
International Conference Room
分科会② 医療・健康・美容
国際会議室

Overseas Participants



Contents

Floor Map	11
Overseas Participants	13
Greetings from Executive Committee Chair	15
Program	16
Speakers at International ONSEN Summit	17
Tourism Working Group Coordinator & Panelists	18
Medical, Health & Beauty Working Group Coordinator & Panelists	19
Energy Working Group Coordinator & Panelists	20
Excursion	21
Sponsorship	22

USA
Hot Springs, AR

International ONSEN Summit
Oita Prefecture, Japan

New Zealand
Taupo

Summit Oita Prefecture, Japan



Chairman of International ONSEN
Summit Executive Committee

Governor of Oita Prefecture

Katusada Hirose

In hosting the International ONSEN Summit, we would like to extend our warmest welcome to the leaders of “ONSEN” hot spring enriched regions from across the world, leaders of local hot spring areas across Japan, and government officials.

The ongoing theme of the summit is “The Possibility of Regional Development through ONSEN Resorts from Around the World – ONSEN-related Ways of Utilizing Local Resources”. It is the first international conference in which we share worldwide ONSEN cultures and its uses in three fields – Tourism, Medical, Health & Beauty, and Energy – and discuss new the possibilities surrounding ONSEN.

With the upcoming Rugby World Cup 2019 and Tokyo Olympic and Paralympic Games, Japan is now receiving attention on an international scale, and I believe that this is a great opportunity to showcase ONSEN information to the world, especially with the attendance of so many leaders from international ONSEN locations in Japan.

In addition to showcasing ONSEN information to the world, I hope to through this summit build new networks and strengthen collaborations between regions, and that the creation of this sustainable community will lead to solutions for all ONSEN locations in the world.

In closing, I would like to express my sincere appreciation to all of the people involved in this summit, and hope that you enjoy a rich ONSEN experience and delicacies from the oceans and mountains of Oita Prefecture.

I wish for the summit to be a fruitful one, with warm cooperation and hospitality of our citizens.

9:00 - 12:00

- Opening Philharmonia Hall
Organizer Greetings
Chairman of International ONSEN Summit Executive Committee
Governor of Oita Prefecture Katsusada Hirose
Guest Greetings
Minister of the Environment Masaharu Nakagawa
Introduction Speech from Overseas Participants
I Keynote Speech
Sustainable Tourism & Possibility of Further Development of Hot Spring Locations in the World
Yolanda Perdomo **【Spain】** Former Director, UNWTO Affiliate Members Programme
II Case Study Speeches
(1) Tourism
Attracting Tourists utilizing ONSEN Hot Springs in France
Jérôme Phelipeau **【France】** Vichy, France CEO, Compagnie de Vichy
(2) Medical, Health & Beauty
Situation of Hot Spring Medical Treatment in Italy and New Vision for Hot Spring
Medical Treatment Pursuing Health and Beauty
Massimo Sabbion **【Italy】** Manager, Abano-Montegrotto Hotel Association
(3) Energy
Geothermal Power Generation in Iceland and Tourist Attraction at Blue Lagoon
Utilizing Heated Water Used for Power Generation
Asa Brynjolfsdottir **【Iceland】** Director of Research and Development, Blue Lagoon Ltd.

12:00 - 13:00

- Lunch Break Reception Hall [2F]
※Standing Buffet (Ticket holders only)

13:00 - 16:00

- III Working Group Session
Working Group ① Tourism Philharmonia Hall
Theme : New Possibilities of ONSEN Tourism
Working Group ② Medical, Health & Beauty International Conference Room [3F]
Theme : Vision of ONSEN Use for Healthy Life Expectancy and Healing
- From Kur to Wellness -
Working Group ③ Energy Conference Room [1F]
Theme : Use of ONSEN as a Sustainable Energy Source

17:00 - 18:00

- Working Group Summary & Summit Declaration Philharmonia Hall
Closing

Please refer to page 11 & 12 for floor map

Speakers at International ONSEN Summit

I. Keynote Speech

Theme Sustainable Tourism & Possibility of Further Development of Hot Spring Locations in the World

Name [Spain]
Yolanda Perdomo

Profile Former Director, UNWTO Affiliate Members Programme

Graduate of in International Economics from the American University of Paris. She has experience in both the public and private sectors and is an expert in tourism destination promotion and distribution. She has been Vice-Counselor for Tourism for the Government of the Canary Islands and Managing Director of the tourism promotion organization of the Canary Islands. At UNWTO, she engaged in tourism promotion, collaboration, and regional expansion leading 600+ affiliate members as a director. Currently, she is a professor at the Master of Tourism and Public Administration, a joint program of the Spanish Tourism Office and the National Institute for Public Administration.



II. Case Study Speeches

Theme (1) Tourism
Attracting Tourists utilizing ONSEN Hot Springs in France

Name [France]
Jérôme Phelipeau

Profile Vichy, France CEO, Compagnie de Vichy

Graduate of HEC Paris and Sciences-Politiques, Master of Law. In 1978, he joined the Banque de Gestion Privée as a Consultant and later had experience in beverage industry. In 2005, with the help of investors, he bought the Compagnie de Vichy. Since then, he has revived the thermal activity around the concept of "Global Health" combining thermal medicine with the world of well-being. He is also Founding President of Innovatherm a regional Cluster for Thermal Spa Innovation.



Theme (2) Medical, Health, Beauty
Situation of Hot Spring Medical Treatment in Italy and New Vision for Hot Spring Medical Treatment Pursuing Health and Beauty

Name [Italy]
Massimo Sabbion

Profile Abano, Italy
Manager, Abano-Montegrotto Hotel Association

He holds a degree in Business and Administration from Università 'Ca' Foscari (Venice). He has over 40 years of experience in the hospitality, Thermal and Spa sectors. While he ran 5-star hotel President Terme as general manager, he held prominent positions such as vice mayor of Abano City. At current position, he engages health promotion utilizing hot springs.



Theme (3) Energy
Geothermal Power Generation in Iceland and Tourist Attraction at Blue Lagoon Utilizing Heated Water Used for Power Generation

Name [Iceland]
Asa Brynjólfssdóttir

Profile Grindavík, Iceland
Director of Research and Development, Blue Lagoon Ltd.

She received a Master's Degree in Pharmacy from the University of Iceland in 1993. After graduating, she joined the newly established Blue Lagoon Ltd., a company dedicated to unlocking the healing powers of geothermal seawater. Throughout her work with the company, Ms. Brynjólfssdóttir has been one of the key personnel in the Blue Lagoon's management team and she has led the extraordinary scientific development work on Blue Lagoon geothermal seawater and the development of the Blue Lagoon Skin Care products.



Tourism Working Group Coordinator & Panelists

Philharmonia Hall

Coordinator

Name Mihoko Kubota

Profile Associate Professor, Faculty of Business Administration, Asia University

Joined the Japan Travel Bureau Foundation and engaged in trend analysis of the tourism market. Since 2017, she has been investigating local area promotion through tourism as an associate professor of hospitality management in the Business Management Department at Asia University. She is quite familiar with tourism resources in Japan, such as OONSEN hot springs, and serves as the director of Hot Spring Research Center Japan and as a member of expert committees for the Ministry of Economy, Trade and Industry and the Japan Travel Agency. In regard to OONSEN, she promotes the "OONSEN Stay" plan as a member of an expert committee for the Ministry of Environment related to revitalizing OONSEN locations that make use of a region's natural resources. She also writes books on the rebirth of OONSEN hot springs.



Panelists

Name Izumi Kuwano

Profile President, Yufuin Hot Springs Association

After serving as the executive director of her family run business onsen ryokan "Yufuin Tamanoyu," she became the president in October 2003. She also serves as a representative and caretaker for town planning groups. Now she serves in the public sector as the president of the Yufuin Hot Springs Association and the vice president of Tourism Oita while also holding private sector positions at Oita Bank and JR Kyushu Railways as outside director.



Name Shiro Wakui (Masayuki Wakui)

Profile Distinguished Professor, Faculty of Environmental Studies, Tokyo City University
Chair, OONSEN & Gastronomy Tourism Association

While he teaches at Tokyo City University as a special instructor and at Aichi Gakuin University as a special appointed professor in the economics department, he served as general producer at The 2005 World Exposition, Aichi, Japan. He has engaged in resort planning for Huis Ten Bosch and ANA Hotels, and landscape planning for the Tama Garden City Project. He works on the city-nature relationship in a wide variety of ways, and his artwork is highly recognized.



Name [UK]
David James

Profile Bath, UK
Director of Tourism, City of Bath

After studying Business Studies in university, he spent over 3 years in the Free Trade, Managed Houses and Tenanted side of the business. Then, he studied sports management in the USA and worked at sports facilities as upper management. He is now the director of tourism for the city of Bath, a sister city of Beppu City, and is also a director of the Bath City Football Club.



Name [France]
Jérôme Phelipeau

Profile Vichy, France
CEO, Compagnie de Vichy
— Please refer to speakers' page —



Name [Spain]
Yolanda Perdomo

Profile Former Director, UNWTO Affiliate Members Programme
— Please refer to speakers' page —



Medical, Health & Beauty Working Group Coordinator & Panelists

International Conference Room [3F]

Coordinator

Name Sumito Goda

Profile Executive Director, Non-Profit Corporation "The Forum on Thermalism in Japan"
A founding member of The Forum on Thermalism in Japan established in 1986. He doubled as the first secretary general of the Asian and Pacific Council (FAPAC) of the World Federation of Hydrotherapy and Climatotherapy, which is officially linked to the WHO. He has been continuing research and exchange with European ONSEN countries and promoting globalization of ONSEN by getting involved in ONSEN development and social integration in Peru, Iran, and other areas. In Japan, he has engaged in wide-range cooperation of ONSEN locations, is developing platforms for industry-academia-governmental collaboration in ONSEN research, policy recommendation on medical expense deduction for ONSEN treatment, and is fostering ONSEN human resources. His specialty is health sociology.



Panelists

Name Masaki Saito

Profile Professor, School of Marine Science and Technology, Tokai University
Graduate of the University of Tokyo, Doctor of Engineering, he took his current position in 2015, and has a background of working at the Japan Science and Technology Agency, Oita Prefectural Government and Oita Industrial Research Institute. He is involved in the production of ONSEN locations and marine resorts, and suggests tourism promotion policies centered around ONSEN and the ocean in cities Beppu and Bungo-Takada in Oita, Yamaguchi Prefecture, and many other municipalities in Japan. His specialties are environmental oceanography, regional development, and ONSEN tourism.



Name Shinya Hayasaka

Profile • Director, Japan Health & Research Institute
• Professor, Tokyo City University, MD, Ph.D

He graduated from Jichi Medical University, Graduate School of Medicine (Medical doctor and PhD). Authorized balneotherapeutic doctor. After undergoing regional medical treatment, he started researching bathing and hot springs. Through the media, he has been introducing correct information on hot springs and bathing based on his research results in the medical field. He appears on various TV programs and writes many books on ONSEN and bathing. He is also a member of experts meeting on activation on ONSEN locations using natural regional resources as well as chairman of investigative commission on measuring method of effects of "ONSEN Stay" of Ministry of Environment.



Name [Germany]
Markus Matz

Profile Bad Krozingen, Germany
Deputy Managing Director, The Kur und Bäder GmbH Bad Krozingen
He started working after his commercial training in 1986, as a coordinator for the European region at a Swedish medical technology company. In 1992, he moved to a Swiss company specializing in orthopedics and neurosurgery as a sales representative. He now works at the Kur und Bäder GmbH Bad Krozingen and is responsible for the organization and quality management, data protection, major events, and leisure, and sports baths and thermal baths.



Name [Italy]
Massimo Sabbion

Profile Abano, Italy
Manager, Abano-Montegrotto Hotel Association
— Please refer to speakers' page —



Name [France]
Yasuko Jouandeau

Profile Directrice M.A. General Incorporated Association SPALOHAS Club
(Consultant, Journaliste specialised in Thermalisme, Thalassotheapie, Spa)
She received an honorary award from French Thermalism by the CNETH in 2014, and also provided public relations for the ISMH Congress held in 2014 in Kyoto, Japan. After leaving the French Embassy, as of 2005 she has been independently introducing French style thermalisme, thalassotheapie, and spa to Japan and informing the world about Japanese ONSEN cultures through international invitations and specialized magazines. Currently promoting the Thalassotheapie project in Oita Prefecture, she is also a licensed guide interpreter in France authorized by the Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism.



Coordinator

Name Kasumi Yasukawa

Profile Deputy Director, Renewable Energy Research Center, Fukushima Renewable Energy Institute, National Institute of Advanced Industrial Science and Technology

Since joining the Geological Survey of Japan (now the National Institute of Advanced Industrial Science and Technology), she has engaged in numeric simulation research on geothermal reservoirs and geothermal systems. She also worked at the New Energy and Industrial Technology Development Organization and Ministry of Economy, Trade and Industry, and was involved in various international meetings, such as the Convention on the Prevention of Marine Pollution by Dumping of Wastes and Other Matter 1972 and the Intergovernmental Panel on Climate Change. She served as director of the International Energy Agency for 2 terms (2007-2013), and is now a member of the executive committee of The International Energy Agency Geothermal Implementing Agreement to promote geothermal technologies. She is also a councilor of The Geothermal Research Society of Japan.



Panelists

Name Kouichi Fukuda

Profile General Manager, Geothermal Power Department, Thermal Power Division, Energy Service Headquarters, Kyushu Electric Power Co., Inc.

He graduated from the Faculty of Engineering at Kumamoto University and began working at Kyushu Electric Power Co., Inc. He held positions such as General Manager of Electric Power Trading Group, temporary assigned to Nishinippon Environmental Energy Co., INC., Manager of Engineering Administration Office at Matsuura Power Station, General Manager of Hatchobaru Geothermal Power Station, and General Manager of Geothermal Center. He is now General Manager of Geothermal Power Department, Energy Service Headquarters.



Name Shigeto Yamada

Profile General Manager - Geothermal Power Thermal & Geothermal Power Plant Engineering Department, Power Plant Division, Power & New Energy Business Group, Fuji Electric Co., Ltd.

He graduated from the Faculty of Science and Technology at Waseda University and began working at Fuji Electric Co., Ltd. He held positions such as manager and general manager of geothermal technology, then and as project manager of several projects, such as the Northern Negros Geothermal Power Plant in the Philippines, as well as others in Nicaragua and the United States. He is currently director of International Geothermal Association, director of Geothermal Resources Council, and councilor of The Geothermal Research Society of Japan.



Name [New Zealand]
Greg Bignall

Profile Head of Department, Geothermal Sciences, GNS Science

He obtained a PhD (Geology) from the Geothermal Institute (University of Auckland) in 1995. After working at Tohoku University in Japan and other institutes, he joined GNS Science in 2004 and boasts extensive consultancy experience in geoscience resource assessment and related projects. From 2010 to 2014, Dr. Bignall managed GNS's Government-funded multi-institutional Geothermal Research Program ("Geothermal Resources of New Zealand"), represented New Zealand on the Steering Committee of the International Partnership for Geothermal Technology, and for the last four years has been Head of Department of Geothermal Sciences.



Name [Iceland]
Asa Brynjolfsdottir

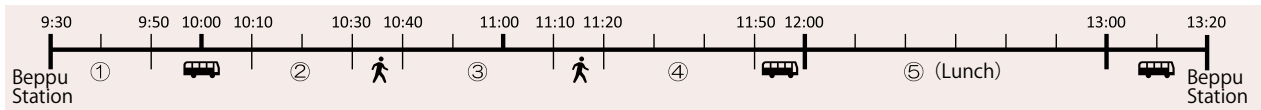
Profile Director of Research and Development, Blue Lagoon Ltd.

— Please refer to speakers' page —



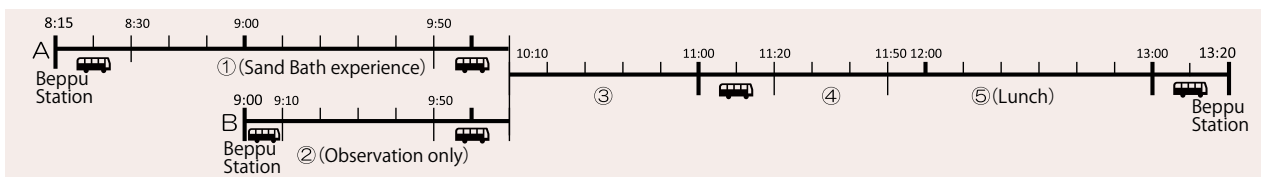
1. Tourism Course

Course Beppu Station → ① Beppu Station Foreign Tourist Information Office → ② Umi Jigoku (Sea Hell) → ③ Kannawa Walking Trail → ④ Fujiya Gallery hanayamomo → ⑤ Seaside hotel "Seikai" (Lunch) → Beppu Station



2. Medical, Health and Beauty Course

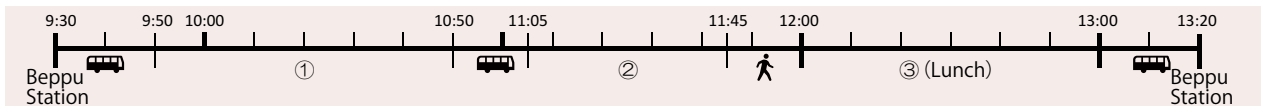
Course Beppu Station → ① Beppu Beach Sand Baths or ② Kitahama Terumasu Hot Spring → ③ Myoban Yunosato Hot Spring → ④ Sally Garden inn Yanagiya → ⑤ Otto e Sette Oita (Yanagiya) (Lunch) → Beppu Station



Attention • Course A Departure time: 8:15 (Beppu St.) • Course B Departure time: 9:00 (Beppu St.)
• Course A and B merges at ③

3. Energy Course

Course Beppu Station → ① Prefectural Agricultural Research Division Floricultural Group → ② Umi Jigoku (Sea Hell) → ③ Motoyuu no Yado Kurodaya (hotel) (Lunch) → Beppu Station



4. ONSEN & Gastronomy Walking Course

Course Beppu Station → ① ONSEN & Gastronomy Walking in Yabakei → ② Nakatsu City Hot Spring Facilities → Nakatsu Station → Beppu Station



Attention • Please wear comfortable clothes and shoes for walking.
• You can get off the bus either at Nakatsu St. or Beppu St. on return.



i i c h i k o

三和酒類株式会社

ANA

 感動を、シェアしたい。
大分銀行

SSS 有限会社 **ザンエスマンテナンス**

 **GDI** Geothermal Development & Investment
株式会社地熱開発

大分県酒造組合

大木化粧品株式会社

ブランドおおいた輸出促進協議会農産部会

International **ONSEN**



Summit Oita Prefecture, Japan